

**製品名: MAPK6 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02229**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 83 kDa; Observed MW: 105 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAPK6
別名	ERK3; PRKM6; p97MAPK; HsT17250; ERK-3
遺伝子 ID	5597
SwissProt ID	Q16659
免疫原	ヒト MAPK6 の合成ペプチド

**背景**

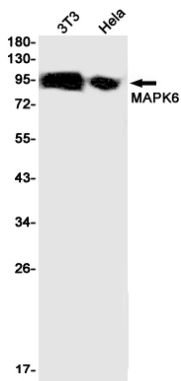
非定型 MAPK タンパク質。微小管関連タンパク質 2 (MAP2) および MAPKAPK5 をリン酸化します。MAPKAPK5 と形成される複合

体の正確な役割は未だ解明されていませんが、この複合体は一連の複雑なリン酸化イベントを経ます。非定型 MAPKAPK5 との相互作用により、ERK3/MAPK6 は Ser-189 でリン酸化され、次に MAPKAPK5 のリン酸化と活性化を媒介し、MAPKAPK5 は ERK3/MAPK6 をリン酸化します。細胞周期への移行を促進する可能性があります。

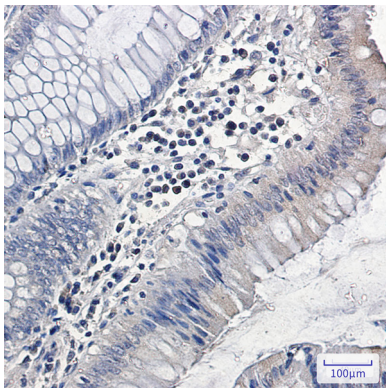
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



MAPK6 抗体を使用した 3T3、Hela 溶解物中の MAPK6 のウエスタン プロット分析。



MAPK6/ERK3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。